

奄美大島・喜界島農業の動き

■令和7年5月

1 あまみフルーツアイランド確立事業が開始

奄美大島選果場がある奄美市は、奄美大島全域のタンカン、津之輝のブランド化等に向けた「あまみフルーツアイランド確立事業（R7～12）」を今年度から開始しました。本事業で新たにブランド確立推進員が配置され、関係機関と連携した精力的な技術指導も開始されました。今後、指導対象農家を絞り込み濃密指導等も行うこととしています。農政普及課も園振協活動等を通じ、課題である収量確保や選果場利用などに対して、本事業と歩調を合わせた支援を行っていきます。



あまみフルーツアイランド確立事業
たんかん密植仕立て検討会の様子

2 マンゴーの有胚果減少と研修会の開催

5月20日、喜界町営農支援センター及び生産者ほ場で、喜界町マンゴー研修会が開催され、生産者11名を含む15名が出席しました。5月から8月にかけての栽培管理について講習を行うとともに、今年は例年と比べ有胚果が少なかったことから、事前巡回に基づいた現状の共有及び要因・対策について説明を行いました。減少の主な要因は低温によるものと思われ、これからの対策として摘果時期の見直しや、来年度以降の対策として、各ほ場の気温の把握、ハウスの開閉管理の見直し、収入保険への加入等を提案しました。



喜界町マンゴー研修会
室内研修の様子



喜界町マンゴー研修会
生産者ほ場での現地検討の様子

3 喜界町コーラルプロジェクトが進行中

5月22日、喜界町で喜界町コーラルプロジェクトのオンライン会議が開催されました。プロジェクトにおいては、営農支援システムでは地図情報との相互データのやりとりによる利便性の向上、自動操舵システムを導入している農家へのアンケート実施、ドローンモニタリングでは欠株や心枯等の分析や衛星を活用した分析検討等の取り組みが進行中です。オンラインの活用で、遠距離間でも定期的に進行管理を検討できることから、関係者各位と連携しながらプロジェクトを進めていきます。